

1. はじめに

令和5年9月19日に「TNF工法現場説明会」へ参加した。

当日は、北九州市小倉北区に建設中の某店舗の建設現場にて、TNF工法の概要説明及びTNF-D工法の施工状況の見学を行った。

2. TNF工法について

TNF工法は、井桁状に形成した改良層に基礎・スラブのコンクリートを直接打設することにより、改良層・基礎・スラブが一体となり、効果的に建物の荷重を地盤に伝達し、現地盤の支持力の増幅を図る地盤改良工法である。井桁状の改良層の凹部分で土砂を囲い込むことで、地盤への荷重伝達を安定させることにより、相対沈下量を低減し不同沈下を抑制できる工法である。

また本工法において、以下のようなコストメリットがあることがわかった。

- ・改良地盤へ直接コンクリートを打設するため、型枠が不要となる。
(建築資材・仮設費用が抑えられる)
- ・解体時に産業廃棄物が発生しない。
- ・施工や解体は汎用重機にて容易に行うことができる。
- ・建設残土が少ない。

3. 現場写真

3-1. 基礎配筋



3-2. 改良地盤と自然地盤の境界



3-3. 全体写真



4. おわりに

本現場説明会へ参加したことで、本工法のメリットや適用範囲（長期許容地耐力は 15t/m^2 程度まで施工可能）を十分に理解することが出来ました。今後実施の案件において採用する際には、本現場説明会で学んだことを活かしていきたいです。

最後に、本現場説明会を企画してくださった株式会社タケウチ建設様へ厚くお礼を申し上げます。

以上